

ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等一覧

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3Rに向けた活動状況	令和3年度の3Rに向けた活動目標
<p>(前委員) 山形県環境保全協議会</p>	<p>理 事</p>	<p>鈴木喜代壽</p>	<p>今年度は新型コロナウイルスの感染防止により、総会をはじめ研修会事業もすべて中止となり、事業活動において直接、ゴミの削減等呼びかける機会がありませんでした。</p> <p>会員に向けての情報提供としては、以下の案内を実施しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ごみゼロやまがた推進功労者表彰候補者の推薦について ○ ごみゼロやまがた県民運動チラシ ○ 山形県リサイクルシステム認証制度案内 ○ エコカップやまがた2020の案内(株式会社トー屋:「庄内エコ米プロジェクト」を含む) ○ 山形県環境保全推進賞受賞企業の紹介(廃プラを分別して有価物やリサイクルに向けた活動を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総会や研修会事業が開催された場合は、3Rについて呼びかける。(予定) ○ 3Rに関する情報の提供を実施する。
<p>一般社団法人 山形県産業資源循環協会</p>	<p>会 長</p>	<p>黒澤利宏</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 特設webサイト「令和2年やまがたオンライン環境展」の中で、産業廃棄物の適正処理、不法投棄の原状回復作業、リサイクルの推進等について動画による啓発を行った。 2 協会のホームページや機関誌において、産業廃棄物の適正処理、リサイクルに関する通知等を掲載し、啓発を行った。 3 県の総合支庁ごとに設置されている不法投棄防止対策協議会に助成するとともに、原状回復作業に会員が協力した。 	<p>令和3年度の活動目標(予定)は下記のとおりです。おおむね今年度と同様の活動を予定しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度も「やまがた環境展」に引き続き参加し、廃棄物の適正処理、不法投棄の防止、リサイクルの推進を呼びかける。 2 協会のホームページや機関誌等で啓発を行う。 3 各地区の不法投棄防止対策協議会に活動支援のための助成を行うとともに、パトロールや原状回復作業に会員も参加して取り組む。

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3Rに向けた活動状況	令和3年度の3Rに向けた活動目標
山形県商工会議所連合会	常任理事	阿部英弥	<ol style="list-style-type: none"> 1 コピー用紙や古紙などを分別し、リサイクル活動を行った。 2 商工会館にゴミ削減のポスターやパンフレットの掲示を行った。 3 女性会を中心に3010運動を呼びかけ、周知を行った。 	<p>昨年の取組を引き続き実施する。</p>
(前委員) 山形県JA女性組織協議会	会 長	有海栄子	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食品ロスの削減に向け、フードドライブ活動に取り組み、自宅で余っている食べられるけど捨ててしまう食品や、使わない日用品等の提供に協力しました。 ○ 今年度は、コロナ禍の影響もあり、密を避け、それぞれのJA女性部ごとに活動しました。 ○ 地元の社会福祉協議会とも連携し、地域に根ざした活動として取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、フードドライブに取り組んでいく予定です。 ○ また、会議や研修会を行った際は、昼食時に箸を持参し、割り箸の使用を控える「マイ箸運動」に取り組んでいきます。
(前委員) 公益社団法人日本青年会議所 東北地区山形ブロック協議会	直 前 会 長	奥山恵治	<ul style="list-style-type: none"> ○ 懇親会等での食べ残しゼロの呼びかけ ○ 会議のペーパーレス 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会議のペーパーレスについて継続
山形県電機商業組合	副理事長	川口正男	<ol style="list-style-type: none"> 1 家電リサイクル法の推進を図った。 2 組合事務局では、裏紙の利用とFAX用紙の出力削減。 3 食事の伴う理事会及び役員会では、食品ロス削減を目指し3010運動を推進。 4 地域電器店ではお客様へのレジ袋の使用を控えた。 5 持続可能な開発目標SDGSの17の目標の中から地域電器店でできる課題に挑戦する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 家電リサイクル法の推進 2 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減 3 食品ロス削減を目指し、3010運動を推進 4 地域電器店でレジ袋の使用を控える 5 SDGSの推進

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3Rに向けた活動状況	令和3年度の3Rに向けた活動目標
やまがた女将会	理 事	工藤真理	令和2年度女将会の活動がなかった為、情報交換ができておりません。	同左
(前委員) 一般社団法人 山形県建設業協会	会 長	澁谷忠昌	<ol style="list-style-type: none"> 1 会員企業や支部青年部による道路・河川の美化活動を実施している。 2 会員企業や支部への案内や通知等は、ほぼ全てメールで配信しペーパーレス化している。 3 会員企業においては、情報共有システムを用いて受発注者間の書類の簡素化、電子化に努めている。 4 美しい山形・最上川フォーラムの会員として年会費を納め、行政、市民による県内河川の美化活動を支援している。 	○ 来年度も引き続き今年度の事業を実施する予定である。
山形県再生資源商工組合	事務局員	庄司里沙	コロナウイルスの影響により会食は全て中止、会議もWebで開催した為、3Rを推進する機会がありませんでした。各組合員の企業の中では事業系ゴミの削減は取り組みを強化している状況です。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲食を伴う会議や懇親会が再開された折にはしっかりと食べ切り運動に取り組みます。 ○ 企業毎の事業系廃棄物の削減、資源への新しいルートを日々探していきたいと考えます。
山形県環境整備事業協同組合	理事長	丹野善将	<ol style="list-style-type: none"> 1 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減 <ol style="list-style-type: none"> ① 廃棄物の適正処理の推進 ② 廃棄物の不法投棄の防止 2 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減 	<ol style="list-style-type: none"> 1 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減 <ol style="list-style-type: none"> ① 廃棄物の適正処理の推進 ② 廃棄物の不法投棄の防止 2 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減 3 宴会時の食べ切り運動(3010運動)の呼びかけ 4 災害時体制の構築 山形県との「災害一般廃棄物の収集運搬に係る協定書」に基づき、被災市町村及び関係団体と連携し、災害廃棄物処理体制を構築する。

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3Rに向けた活動状況	令和3年度の3Rに向けた活動目標
公益社団法人 山形県食品衛生協会	会 長	長谷川正芳	食品衛生責任者養成講習会等で、廃棄物の適正処理、食品ロス削減等について呼びかけを行った。	食品衛生推進大会での参加者への情報提供・啓発、協会内会議や食品衛生責任者養成講習会等の機会を捉えてごみ削減等の呼びかけ等を行っていく。
山形県商工会女性部連合会	会 長	原 田 周 子	<ul style="list-style-type: none"> ① 廃食油の回収と再利用 ② 牛乳パックの回収と再利用 ③ フリーマーケット・バザーの定期的な開催 ④ エコキャップ回収運動 ⑤ マイ箸持参運動 ⑥ アルミ缶・プルタブ回収運動 ⑦ ゴミ袋削減運動 ⑧ 生ゴミ堆肥化運動 ⑨ 食品ロス削減運動 ⑩ その他（普及啓発、環境教育など） 	各女性部で継続してエコ活動に取り組んでいく予定。
山形県工業会	会 長	松 村 英 一	本会においては、情報提供事業の一環として、当運動のチラシを適宜会員に周知すると共に、本会事務所に掲示をして、情報発信並びに活動推進を図っている。	引き続き、令和2年度同様、活動を推進していく。

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3Rに向けた活動状況	令和3年度の3Rに向けた活動目標
山形県連合小学校長会	理 事	佐 藤 法 子	<p>県内各校における活動状況は以下の通り</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 印刷物のリユース・リサイクル、印刷（コピー）枚数の削減 2 資源回収等リサイクル運動（コロナウイルス感染防止のため実施の縮小・中止も多） 3 給食の食べきり、残菜・残飯を少なくする取り組み 4 会議資料のペーパーレス化（会議でのPC使用） 5 連絡事項等のメール配信によるペーパーレス化（主に家庭へ） 6 持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた持続可能な開発のための教育（ESD）の推進～特に環境教育 7 保護者・児童への啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度も、令和2年度同様に各小学校における3Rを推進する。 ○ 授業でのPC・タブレット端末使用促進により紙資源を節約することを目指す。 ○ 持続可能な開発のための教育（ESD）を一層推進する。
<p>（前委員） 山形県中学校長会</p>	会 員	有 路 智 子	<p>県内各校におけるエコ活動の推進では以下のような取り組みを行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 印刷物のリユースとリサイクル 2 会議資料のペーパーレス化（パソコン、タブレット使用） 3 資源回収等のリサイクル運動（PTA、生徒会との連携） 4 広告チラシの活用（ゴミ箱づくり） 古タオルの活用（雑巾づくり） <p>※ 今年度は飲食を伴う会合等などが全て中止になったため、3010運動を実施する機会がなかった。</p>	<p>コロナ禍の状況を見ながら、安全、健康面に配慮しながら令和2年度と同様に県内各中学校におけるエコ活動を推進していく。</p>

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3Rに向けた活動状況	令和3年度の3Rに向けた活動目標
山形県消費生活団体連絡協議会	会 長	石 塚 久 子	<p>県会員全体の活動の実施は全くできない状態でした。単体としての活動としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 廃油を利用した石けん作り（米沢市）（東根市） ○ 講演「進行する温暖化、私達はどう対応するか」「海洋ごみ問題と私達の生活（米沢市）」 ○ 古いバスタオル使用足拭きマット作り（東根市） ○ 研修会「ごみの分別と減量化について」「エシカル消費とローカルSDGsについて」（東根市） ○ 食品を社会福祉協議会に寄付（長井市） ○ 紙芝居による「海洋汚染と庄内浜のプラスチックごみの実態」を学習（長井市） <p>その他の市町村は実施しなかった。</p>	<p>新型コロナウイルスの終息はまだ見えない状態なので県全体が集合して実施する活動は期待できないが、可能な状況になれば「食品ロス」のテーマで県会員全体で学習したい。</p>
(前委員) 公募		伊 藤 智 英	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私が行っているフードバンク活動では、令和2年度（2020年4月～1月）までにご寄付いただきました食品や生活用品は、7697.7kgです。 ○ 2021年1月には、県立山形東高等学校の生徒さんが山形市役所でフードドライブを実施して、約370kgの食品や生活用品をご寄付いただきました。 ○ 2021年2月には、県の補助事業として鶴岡市・米沢市・尾花沢市でスポットフードドライブを実施します。このことにより、多くの方に食品を有効活用できることを知っていただくことにより、ごみとなる食品の削減に効果があると思います。 ○ 個人的には、食品パックや雑紙をリサイクルに出すように努め、マイバックを持参しビニール袋をなるべく購入しないように実践しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度もフードバンク活動を通して食品を有効活用できるように活動を行っていきます。 ○ 県民の多くの方に、フードドライブに参加していただけるようにスポットフードドライブ及びスクールフードドライブを増やしていく予定です。

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3Rに向けた活動状況	令和3年度の3Rに向けた活動目標
山形県保育協議会	会 長	岡 崎 恵 子	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育園、こども園は自園調理を行っており、子どもの様子に合わせて、献立や量を考え残菜を出さない工夫に取り組んだ。 ○ 保護者にはマイバック持参の呼びかけを行う。 ○ 新型コロナウイルス感染防止のため、会議や研修会等がオンラインになり、資料等のペーパーレスに取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年度の取り組みを継続していく。 ○ 家庭でのゴミ削減に向けての、ゴミの出し方のアドバイス等を発信していく。
NPO法人 環境ネットやまがた	主 任	河 合 麻 衣	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境省環境マネジメントシステム「エコアクション21」の活動の一環として以下の取組みを継続的に行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・紙ゴミを毎月計測し、古紙回収に出す。 ・コピー枚数の削減 2 メールマガジン、フェイスブック、ホームページを活用しイベント等の周知を行い、紙（チラシ）等の削減を行った。 3 オンラインセミナーを積極的に活用し、参加者への配布資料の削減を行った。 4 山形県地球温暖化防止活動推進センターの事業で、「ストップ温暖化エコカップやまがた」を開催し、県内の温暖化防止活動や廃棄物削減等の活動情報を収集し、活動報告会及び冊子を作成した。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境省環境マネジメントシステム「エコアクション21」の活動の中で以下の取組みを継続的に行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・紙ゴミを毎月計測し、古紙回収に出す。 ・コピー枚数の削減 2 温暖化防止活動や廃棄物削減等の活動の情報を収集し、広く情報提供する。
山形県PTA連合会	母 親 委員 長	高 見 佳 澄	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県PTA理事会や県PTA母親委員会で「ごみゼロやまがた推進BOOK」パンフを配布するとともに、協力の呼びかけを行った。 ○ 市PTA研修会でパンフレット配布した。 	パンフレット活用し、「ごみゼロやまがた」への協力をお願いする

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3Rに向けた活動状況	令和3年度の3Rに向けた活動目標
山形県保健環境活動団体 連合会	会 長	西 田 忠 一	<ul style="list-style-type: none"> ※ 各市町村衛生組織活動例 ○ 生ごみ処理機購入補助 ○ 不法投棄防止活動 ○ リユース食器利用推進事業 ○ 木材リユース事業 ○ 空缶散乱防止運動 ○ EMボカシづくり講習会 ○ 粗大ゴミ回収斡旋事業 ○ 小型家電リサイクル事業 ○ 環境ポスターコンクール実施 ○ 廃タイヤ回収事業 ○ 資源回収奨励金交付事業 ○ ごみステーション・リサイクルステーションの新設・修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境保全の面から「ごみゼロやまがた」実現に向け、3Rの考え方に基づく諸実践活動を推進するとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に向けた浄化槽の普及推進や適正な維持管理、水環境の保全活動、不法投棄防止活動並びに漂流・漂着ごみ対策等、循環型社会の構築に向けた運動を引き続き展開する。
NPO法人 みらい子育てネット山形	理事長	細 谷 由 紀	<ul style="list-style-type: none"> ○ 会員に資料を郵送する際、チラシなども同封し、3Rについて理解を深めてもらえるようにした。 ○ 会報にコーナーを設け、ごみゼロについての広報を行った。 ○ 会議の際、宴会時の3010運動の他に、冷蔵庫点検の3010運動があることを説明し、理解を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度も令和2年と同様にごみ減量に向けた活動を行っていく。 ○ フードドライブ活動についての理解を深めたり、実際に行ったりする。

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3Rに向けた活動状況	令和3年度の3Rに向けた活動目標
<p>(前委員) 山形市</p>	<p>環境部長</p>	<p>松田和巳</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資源回収推進事業によりごみ減量と再資源化を図った。 ○ 生ごみ処理機購入に対する補助を実施し、生ごみの減量化及び堆肥化を促進した。 ○ 「生ごみやさいクル事業」により、乾燥式生ごみ処理機で乾燥し資源(肥料)化した生成物の循環利用とごみの減量を推進した。 ○ 雑がみ回収広報袋を作成・配布したほか、資源物引取事業所の周知により、紙類布類の再資源化を推進した。 ○ 事業所から排出される古紙類再資源化の取組みについて広報を行った。 ○ 小型家電リサイクル事業により、使用済小型家電の回収、再資源化を行った。 ○ レジ袋削減のためマイバッグ持参を推進し、成果を確認するため、スーパー等の協力を得てマイバッグ持参率調査を実施し、啓発のためその成果を広報した。 ○ 市民、事業者、行政が一体となってごみ減量とリサイクルを推進している市民団体「ごみ減量・もったいないねっと山形」の活動支援を行った。 ○ 同市民団体と連携し、家庭における食品ロス削減のため、冷蔵庫の中を定期的(毎月10日と30日)に整理する「30・10運動～家庭編～」を推進した。 ○ 同市民団体と連携し、外食時の食べ残し削減のため「30・10運動～新しい生活様式編～」を推進した。 ○ 30・10運動(家庭編、新しい生活様式編)の実践について広報を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年度と同様の活動を継続(予定) ○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した、事業者、市民団体と連携したスーパー店頭でのキャンペーン(雑がみリサイクル、食品トレーリサイクル等)は、感染症の状況を見ながら実施を検討する。(予定)

所 属	役 職	氏 名	令和2年度の3 Rに向けた活動状況	令和3年度の3 Rに向けた活動目標
公募		横尾知子	<<個人として>> 1 生ゴミ処理機を利用し、堆肥として活用の継続 2 コロナの影響もあり、買い物回数の軽減の持続 3 家庭ゴミを減らす為、ペットボトル、アルミ缶等積極的に回収ボックス利用の継続 <<事業所として>> 1 車の消耗品以外の部品交換、修理はリサイクル部品の推奨継続 2 社内でも分別の徹底、ゴミ削減の為、電子化の継続 3 電気自動車で、CO2排出量削減の継続	令和3年度も引き続き、3 Rを実施する予定